

『津市 GIGA スクール構想』の実現に向けて

子どもたちが社会で活躍する時代は、Society5.0の到来、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、少子高齢化の加速化など、社会や産業の構造が大きく様変わりし、先行き不透明で予測することが困難な状況であります。このような時代において、一人一人の子どもたちが、自分のよさや可能性を認識し、様々な人々と協働しながら、困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。

このような中、ICTの効果的な活用とこれまで培ってきた日本の教育の実践を両輪として、未来の社会で生き抜いていく力を育てていきます。また、臨時休業等で学校に登校できない場合においても、タブレット端末を活用したオンライン学習等により、津市の子どもたちの学びをしっかりと保障していきます。

タブレット端末で5つのツールを効果的に活用して



Q1 タブレット端末を使うことで、授業がどのように変わりますか？

教師が「教える」というインプット中心の授業から、子どもたちが自ら「学び取り伝える」というアウトプット中心の授業に変わります。一人一人が自分の考えをもち、仲間と話し合い考え合いながら問題を発見・探求・解決することで情報活用能力を育みます。



Q2 現在、学校では、タブレット端末をどのように使っていますか？



社会見学や生活科の校外学習等で写真を撮ってまとめたり、インターネットで情報を確認したり、調べたことを交流したりしています。



「生徒間通信の機能」を使って、協力し合いながら、4人で1枚の新聞を作っているところです。



修学旅行の調べ学習等の成果を、大型テレビを活用し、仲間や保護者に向けて説明し、学んだことを交流しています。

Q3 タブレット端末を活用する際のルールはありますか？

子どもたちが、興味・関心があること、さらに追究したい事柄など、それぞれのニーズに応じて効果的にタブレット端末を活用することによって、その可能性は無限大に広がります。一方で、間違った使い方をすれば大きな危険性があります。

タブレット端末の持ち帰りに際して、ご家庭において、タブレット端末を大切に扱い、適正に利用するようにお子さんと話し合ってください。ルールについては、各学校で発達段階に応じて指導していますが、津市「タブレット端末活用のルール」を津市e-Learningポータルに掲載していますのでご参照いただき、ご家庭でもお子さんとともにご確認ください。

Q4 情報モラルはどのように身に付けますか？

本市においては、「情報モラル指導モデルカリキュラム」を示し、発信する情報や情報社会での行動に責任を持つこと、情報に関する自分や他者の権利を尊重すること、社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを知るなど、あらゆる教育活動の中で、発達段階に応じて計画的に指導しています。子どもたちには、ネット上の不適切な情報を見抜く力を育成するとともに、気づいたときには、すぐに教職員等に相談できる関係づくりを行っています。

ご家庭においても、子どもたちの発信を、ぜひ受け止めていただきますようお願いします。

※タブレット端末を活用して取り組んだ学習履歴は、教育目的以外では利用しません。

Q5 タブレット端末を家庭において活用することはありますか？

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い臨時休業あるいは自宅待機になった場合、子どもたちの学びを保障するために、タブレット端末をご家庭に持ち帰り、学習プリント等の紙媒体と併用して、Web会議システム（Zoom等）や授業支援クラウド（ロイロノート・スクール）等を活用したオンライン学習を行います。

ご家庭では、今後のオンライン学習の準備として、Wi-Fiによるインターネット環境の整備を進めていただきますようよろしくお願いいたします。